

用上板南口まちづくりビジョン（案）に対するパブリックコメントと区の考え方

- 1 募集期間：令和7年2月19日（水）～3月11日（火）【21日間】
- 2 件数：27件・19人（郵送5人、メール1人、Web回答13人）
- 3 意見の概要と区の考え方

No.	項目	意見の概要	件数	区の考え方
1	ビジョン案（全体）	板橋区がイメージしているまちづくりは、自由が丘や田園調布のような高級住宅街のようなものなのか？内容が抽象的なので教えてほしい。	1	上板南口まちづくりビジョン（以下、「まちづくりビジョン」）（案）では、特徴ある地域資源である、緑、食、文化、学び、健康などを活かした、上板橋らしい魅力を創造するまちづくりをめざしています。 高級さで惹きつけるという考え方ではなく、上板橋らしいライフスタイルが共感を生み、住み続けたい、移り住みたいという思いにつながるような、全世代に住みよいまちをめざします。
2	ビジョン案（全体）	防災の事ももっと真剣に考えてほしい。	1	地区内には、道路幅員が狭く、耐火性の低い建築物が建ち並ぶ地域も含まれており、本地区のまちづくりにおいて、防災性の向上を図ることは、非常に重要であると考えています。災害に強いまちづくりに向けて、ハード・ソフトの両面から検討を進めてまいります。
3	ビジョン案（全体）	上板橋駅南口駅前西地区市街地再開発準備組合理事会として、ビジョン（案）に示された都市像「人々が混ざり合い、つながる緑豊かなまち」「新たな公園都市」について賛同する。 理事会からの意見は以下の通り。 ・ 商店街の風景を活かしたまちづくりは良い。西地区としても商店街のにぎわいが継承、発展していくまちづくりをしたい。 ・ ボイドネットワークの考え方がまち全体にひろがると良いと思う。西地区としても官民一体でのボイドの創出により、商店街等に休憩できる滞留空間などをつくり、にぎわいにつなげていきたい。 ・ グリーンプロムナードが緑豊かな空間となるのは良い。西地区としても敷地内の緑化だけでなく、敷地外と一体で緑化し、緑を感じながら心地よく過ごせる官民一体での空間づくりに貢献したい。 ・ 防災性の向上は重要。西地区の事業でも防災性向上に取り組みたい。 ・ 次世代へ地域の愛着をつなぐため、維	1	まちづくりビジョン（案）で示す都市像にご理解をいただき、ありがとうございます。 まちづくりビジョン（案）では、境界を越えて、官民が一体となって、めざす都市像を実現することをめざしております。 理事会の皆様からのご意見のとおり、上板橋駅南口駅前西地区市街地再開発事業（以下、「西地区再開発事業」）が、上板南口銀座商店街（以下、「商店街」）のにぎわい、敷地の内外で官民一体となった緑豊かな空間形成、防災性の向上、開かれた維持管理のプロセス等を踏まえた計画となることは、非常に重要なことであると考えます。

No.	項目	意見の概要	件数	区の考え方
		持管理への開かれた参加のプロセスの具体化にも貢献していきたい。		
4	ビジョン案（全体）	上板橋駅南口駅前西地区市街地再開発準備組合として、ビジョン（案）の都市像の実現に貢献できる事業をしたいと考えており、以下の方針で西地区の事業を実現していきたいと考えている。 1. “上板らしい”まちの顔をデザインします 2. 境界を超えてつながるボイドのネットワーク形成に資する空間をデザインします 3. 人々が混ざり合い、ライフスタイルをつなぐまちをデザインします。 その具体化に向けては、西地区再開発が、ビジョン（案）の都市像実現への第一歩となるようぜひ貢献していきたいと考えている。今後、都市像実現に向けた検討の方向性や事業計画等を順次準備組合内で検討し、速やかに区に示していきたい。	1	まちづくりビジョン（案）で示す都市像の実現への貢献について、ご意見をいただき、ありがとうございます。 区にお示しいただく内容が、都市像の実現に不可欠な事項であれば、区として、まちづくりビジョンの最終案に反映するよう検討いたします。
5	ビジョン案（第2章）	上板のまちの顔となる駅前広場という公共ボイドを活かしながら商店街の活性化と共に西地区再開発事業の施設計画を考え作り上げていきたいと思う。 物的流通・情報流通の豊富さにあふれている町をコンセプトとして皆さんの知恵を集めるべきだと思う。 私達の「くらし」をどう作るかという具体案を拠り所として考えていきたい。	1	区としても、西地区再開発事業は、駅前の顔となる場所であるとともに、商店街と隣接していることから、にぎわいの創出や活性化等、地域の「くらし」に対して非常に重要な役割を担っている拠点だと考えます。 引き続き、区民の皆様からご意見を伺いながら、より良いまちづくりの推進に努めてまいります。
6	ビジョン案（第3章）	駅前から桜川へ向かう商店街の道路を買い物にきた人や通勤、通学している方々が楽しめる工夫した面白くて楽しめる道路にしてほしい。 再開発後の商店街の賑わいが、楽しめることを期待したい。	1	「第3章 ゾーンごとのまちづくりの考え方（案）」では、商店街沿道のゾーンにおいて、駅前から桜川地域へと連続する賑わいの軸を形成することをめざしています。 ご意見を踏まえながら、にぎわいがあり、様々な方が楽しめる商店街の実現に向けた検討を進めてまいります。
7	ビジョン案（第3章）	第3章ゾーンごとのまちづくりの考え方（案）の「1 再開発事業・共同化によってまちの顔づくりを進めるゾーン」についての、「駅前地区にふさわしい建物用途や高度利用を誘導する」という考え方に賛同する。 当該ゾーンで、東地区再開発事業で新設される区画道路第2号に沿ったエリアは、現行の都市計画では「第一種住居地域・容積率 200%」となっていますが、上記の「駅前地区にふさわしい高度利用」を図るためには、再開発事業区域と同等	1	具体的なご意見をありがとうございます。 上板橋駅南口駅前東地区市街地再開発事業（以下、「東地区再開発事業」）で新たに整備する区画道路第2号の沿道では、建物の不燃化や共同化を促進し、地域の防災の軸を形成するため、一定の高度利用を図ることも視野に、関係機関との協議を含めた検討を進めてまいります。

No.	項目	意見の概要	件数	区の考え方
		の用途地域・容積率へ変更する必要があると考える。		
8	ビジョン案 (第4章)	上板南口まちづくりビジョンのP10の図4-2 モビリティハブのイメージがよく分からないので、教えてほしい。	1	モビリティハブは、様々な移動手段の接続・乗換え拠点のことです。 将来的に区域内を歩行者中心の魅力あるまちとし、区域内への車両交通の流入を抑制するためには、通過交通と地区内交通との適切な役割分担を可能とするよう、移動手段の接続・乗換え拠点であるモビリティハブを計画的に誘導し、適切に配置することが望ましいと考えています。 移動の手段が充実することで、地域の皆様が、出かけたくなる、歩きたくなるようなまちの実現に向けて、将来を見据えた検討や研究を進めてまいります。
9	その他 (都市計画道路)	都市計画道路沿道に土地を有している。現在は第一種住居地域に指定されているため、容積率が200%上限規制となっている。 新しい道路が整備されるようなので、可能であれば、是非とも容積率緩和の措置などをご検討いただきたい。	1	具体的なご意見をありがとうございます。 いただいたご意見を踏まえながら、東地区再開発事業で新たに整備する都市計画道路、板橋区画街路第8号線の沿道では、建物の不燃化や共同化を促進し、地域の防災の軸を形成するため、一定の高度利用を図ることも視野に、関係機関との協議を含めた検討を進めてまいります。
10	その他 (都市計画道路)	16メートル道路を活かしたまちづくりを考えてほしい。	1	区としても、新たに整備される板橋区画街路第8号線は、上板橋駅を起点とし都立城北中央公園に繋がるグリーンプロムナードを形成し、川越街道からのアクセス機能の強化や交通結節機能の向上を図るうえで、重要な道路であると認識しております。 道路の新設を活かし、上板橋のさらなる魅力の向上をめざしてまいります。
11	その他 (都市計画道路)	防災面で16m道路に消火栓のようなものを設置し、そこからホースを引っ張って消火活動ができるようにしてほしい。	1	具体的なご意見をありがとうございます。 東地区再開発事業で新たに板橋区画街路第8号線を整備することで、区域内の消防活動困難地域が概ね解消されることとなります。引き続き、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

No.	項目	意見の概要	件数	区の考え方
12	その他 (みどり (維持管理))	みどりの維持管理については、一部の住民だけが実施するのではない、ルールや仕組みを整えてほしい。	4	みどりの維持管理に関しては、一部の住民だけでなく、官民が連携し、様々な方の自主的な参加を得られるような維持管理の仕組みの構築に向けて、検討を進めています。 まちの顔となる空間を美しく維持管理する活動に、地域に新たにお住まいになる方や、多様な世代の方が加わることで、自ずとまちへの愛着が育まれ、持続可能な地域コミュニティの礎となる姿をめざして、場所ごとに適した方策を検討してまいります。
13	その他 (公共施設設置)	再開発で人が増えることにより、南口には交番や消防署が無いため、それらを踏まえた公共施設の計画を作ってほしい。	1	現在進められている再開発事業では、上板橋駅南口周辺地区に交番や消防署の設置の予定はございません。 今後、まちづくりを進めていくうえで、関係機関へも地域の皆様からの要望を伝えながら、公共施設の計画についても検討を進めてまいります。
14	その他 (アンケート)	以前のアンケート回答結果において、その他の意見が反映されていないので、どんな意見があったのか記載してほしい。	1	まちづくりニュース第1号及び第2号で実施したアンケートの結果は、ニュース第3号には、スペースの都合上、一部のみを掲載いたしました。 なお、ニュース第3号の紙面でもお知らせした通り、その他のご意見を含むアンケート結果の詳細は、区ホームページに掲載しております。 引き続き、地域の皆様から多くの意見をいただきながら、まちづくりの検討を進めてまいります。
15	その他 (エスカレーター設置)	上板橋駅南口にエスカレーターを設置してほしい。 エレベーター追加に伴い、輸送能力を増強しているといったご説明だったが、駐輪場利用者のエレベーター利用が増えることが想定される中、単純な1人あたりの輸送能力が向上しているとは思えない。 物理的な制約、予算上の問題、スケジュールの都合など、エスカレーター設置にあたってのハードルがあるのであれば、再検討し、説明いただきたい。	2	上板橋駅の南口においては、東地区再開発事業により、川越街道から上板橋駅に通じる道路や駅前広場が新設され、駅前広場の整備に伴い、地上から駅改札口へのアクセスルートが変更となる計画です。 現在、駅の南口には、11人乗りエレベーターが1基設置されていますが、将来の施設計画では、駅南口には、20人乗り以上の大型のエレベーターを駅前広場に1基、再開発敷地内に公共利用できるエレベーター1基の合わせて2基を設置することで、駅改札口への垂直移動の動線を確保する方針です。 国土交通省の定める「道路のバリアフリー整備ガイドライン」、「東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル」等のバリアフリーに関する基準で

No.	項目	意見の概要	件数	区の考え方
				は、駅前広場における垂直移動の第一手段はエレベーターであり、11人乗り以上の規模が整備基準とされています。また、交通の状況により必要と認められる場合は、エレベーターの大型化や増設による対応を検討することとされています。 エスカレーターとは異なり、エレベーターは、高齢者、車椅子使用者、乳幼児連れの方等の多様な利用者の移動に寄与する施設であると考えます。 上板橋駅南口では、バリアフリー基準に対応し、エレベーターの大型化や増設を盛り込んだ計画としていることから、区として、さらにエスカレーターを設置する計画はありません。
16	その他 (エレベーター設置)	上板橋駅のエレベーターもう一基追加してほしい。	1	国や東京都のバリアフリー基準では、駅前広場には、11人乗り以上のエレベーターを1基設置することとされています。また、交通の状況により必要と認められる場合は、エレベーターの大型化や増設による対応を検討することとされています。 上板橋駅南口では、20人乗り以上の大型のエレベーターを2基設置する計画としています。
17	その他 (喫煙所設置)	再開発事業により、まちに賑わいが出て、人の往来も増えることから、たばこの吸い殻のポイ捨て増加が懸念される。誰もが分煙により快適に過ごせるよう上板橋駅南口に新たに整備される駅前広場には、まちの環境美化のため喫煙所を設置してほしい。 またその他の再開発予定エリアである、板橋駅西口駅前広場においても、喫煙所は撤去されると聞いた。再開発後においても継続して喫煙所を設置していただくよう要望する。 たばこ税を正しく使ってほしい。	6	迷惑喫煙行為（歩きたばこ・ポイ捨て）は、危険な行為であると同時に、まちの美観を損ねることにつながることから、条例により、区内全域でポイ捨て行為は禁止されており、区では、様々な活動を行い、喫煙マナーの呼び掛けを行っています。 駅前広場での喫煙所整備については、地区ごとの実情を考慮したうえで、必要性を見極め、引き続き検討を進めてまいります。
18	その他	ニュースに横文字が多すぎるので、より分かりやすい言葉で説明してほしい。	1	まちづくりニュースをご覧いただきありがとうございます。 専門用語等の伝わりづらい用語については、補足の説明を付け足すなど、わかりやすいニュースの発行に努めてまいります。
		計	27	件